

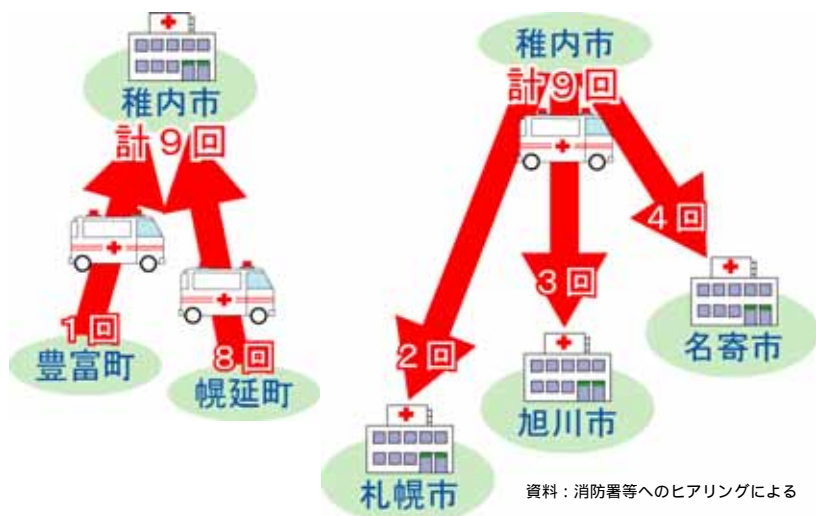
冬期における豊富バイパスの効果について

3. 救急搬送の確実性が向上

稚内市から名寄市、旭川市等へ、幌延町から稚内市への救急搬送では、すべて豊富バイパスが利用されています。開通後約4ヶ月間に豊富バイパスを利用した救急搬送は18件。

平成17年2月21日の夜間には、国道40号が通行止めになっていたため、豊富町から稚内市への救急搬送は、豊富バイパスを走行することで迅速かつ確実に搬送することができました。

4ヶ月で18件の救急搬送



豊富バイパス利用による救急搬送件数
(平成16年11月6日～平成17年2月末日)

稚内消防事務組合消防署豊富支署のコメント
「普段は稚内市への救急搬送に40号を利用しています。今回は**バイパスが整備されたため無事搬送することができ、救急搬送の確実性が向上したと感じました。**」



平成17年2月21日夜間(20:00～翌6:00)の通行止め状況と豊富町から稚内市への救急搬送状況

北留萌消防組合消防署幌延支署のコメント
「豊富バイパスの開通後、幌延町から稚内市への救急搬送が8件発生しましたが、すべてバイパスを利用しました。**交通事故の危険性が低く、吹雪時の走行安定性が高い豊富バイパスは、救急搬送ルートとして定着しています。**」